

# 奥沢駅と奥沢子安公園方面を結ぶ道 通りの愛称大募集

## 愛称案に ご意見下さい！

皆様からのご意見をもとに  
11案に絞りました！

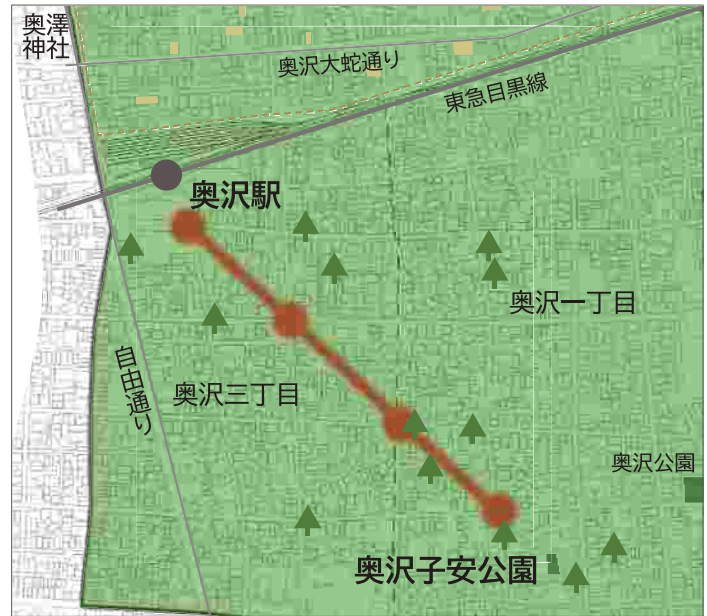
### 通りの愛称募集って？

奥沢駅と奥沢子安公園方面を結ぶ道は、交差点に道祖神や大きな樹木、小さなみどりの植込みなどが風景を彩る通りで、多くの方に利用されています。

この通りに愛称をつけようと、令和2年12月に愛称名を募集し、134件のご提案・ご意見をいただきました。その後、令和3年2月・3月のオープンハウスで応募いただいた愛称を発表し、ご来場いただいた方々からご意見をいただきました。

皆様のご意見をもとに、愛称案を11案に絞り込みました。

### ■奥沢駅と奥沢子安公園方面を結ぶ道 位置



愛称案の中から、「いいな」「素敵だな」と思ったものを教えてください！

### ■愛称決定までのながれ

令和2年 冬

済

ご提案数  
134件

愛称案を  
募集

令和3年 春

済

ご意見数  
124件

第1回  
オープン  
ハウスにて  
ご意見を募集

済

ご意見をもとに  
11案に  
絞り込み

本日！

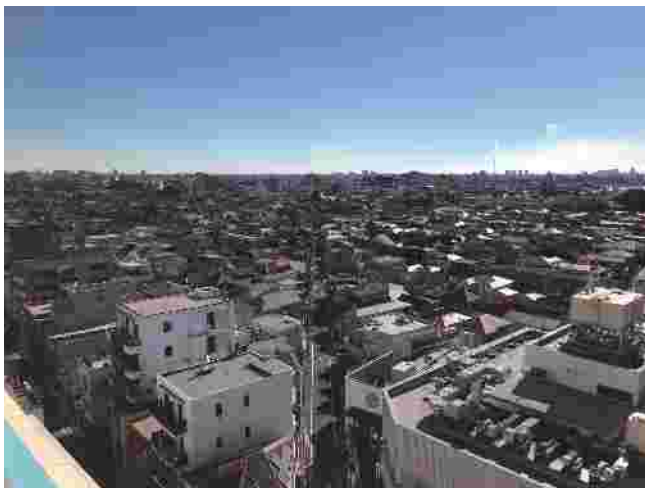
第2回  
オープンハウス  
にて、  
ご意見を募集

今後

ご意見をもとに  
愛称案を決定！

※地域の方による  
「選定会」で、決定  
する予定です。

公表



### 愛称案の絞り込み

前回オープンハウスで「いいな」「素敵だな」とのご意見が多かった愛称案（上位9案まで）に、奥沢小学校3年生が各クラスで応募してくださった案を加えました。

オープンハウスでのご意見



奥沢小学校3年生からの応募案



# 愛称案はこちら！

11案の中から「いいな」「素敵だな」と思った愛称とその理由を、アンケート用紙に書いて教えて下さい！

## 愛称案・提案の理由

## 愛称案に対するご意見

### ① 奥沢クロスロード

・五差路（3か所）、六差路（1か所）と交差するポイントが多いため、クロスロードとした。

・分かりやすい。  
・名前を聞いただけでこの道だと思い浮かぶ。等

### ② (奥沢) 子安通り

・奥沢駅から子安公園の近道だから。  
・子供達が快適・安全に通れる道をイメージ。等

・子安公園、子安稲荷にちなんでよい。  
・子どもと子安公園に行くとき通った道なので。等

### ③ (奥沢) 道祖神通り

・昔から人々を交通事故や事件から安全に守ってくれている「道祖神」への感謝の気持ちを込めた。等

・奥沢の地名とその場所の特徴が分かってよい。  
・道祖神はこの地域のシンボル！ 等

2020年度 奥沢小学校  
3年2組からの応募案

### ④ (奥沢) ななめ通り

・奥沢駅から住宅街を斜めに通っているから。 等

・やっぱり”ななめ通り”と言ってしまう。  
・シンプルで覚えやすい。 等

### ⑤ (奥沢) 本村通り

・奥沢の由来は、1570年に和田朝清がこの地に来て、江戸時代に「奥沢本村」と称したという。愛称は、由緒のある名を記したい。等

・「奥沢本村」は奥沢の地域、文化を示すもの！  
・昔あった名前を残すのはよい。 等

### ⑥ 奥沢（みどり／緑）の道

・皆から愛されるみどり豊かな道になることを願って。 等

・みどりを大切に育む気持ちを込めたい。  
・いつまでも緑豊かな通りであってほしいから。 等

### ⑦ きらきらロード

・ゴミが落ちていないきれいな道で、緑が多く、春には桜も咲いてきらきら輝いているから。 等

2020年度 奥沢小学校  
3年3組からの応募案

### ⑧ <sup>しんめい</sup>神名道路

・道の途中にある道祖神に注目。神様がいる道ということで、「神様の名前」からとって「神名道路」に。 等

・道祖神が周辺の心のよりどころになっていると思うから。 等

2020年度 奥沢小学校  
3年1組からの応募案

### ⑨ バックスラッシュ

・通りが「＼」”バックスラッシュ”の形をしており、「/」スラッシュの逆を意味する。「/」は、区切りを意味するが、その逆の意味として、区切らずに、この道があることで、街を一つにしてくれる存在であることを意味。 等

・印象に残っておもしろい。  
・外国の方にも覚えてもらえやすい。 等

### ⑩ みどりの散歩道

・ななめの道には緑がたくさんあり、歩くたびにその緑に癒されているから。 等

・みどりを大切に育む気持ちを込めたい。  
・いつまでも緑豊かな通りであってほしいから。 等

### ⑪ やすらぎストリート

・通りには道祖神や、さくら、ジュンベリー、草花の植え込みがあり、ここを通るといつも心がやすらぐ。 等

・歩み入る者にやすらぎを、去り行く人にしあわせを、そんなふうに感じられる通りであってほしい。  
・やすらぎという言葉に心が和むのでよい。 等

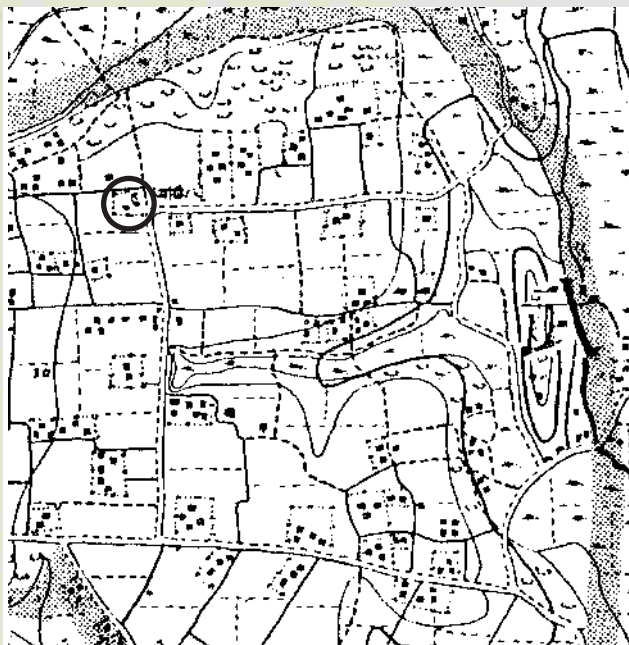


# 奥沢駅と奥沢子安公園方面を結ぶ道 昔ばなし

奥沢1、3丁目付近は、江戸時代は「奥沢本村」と呼ばれていました。

建保元年（1213年）、源頼朝により討たれた和田義盛の子孫が、元亀元年（1570年）に家臣12名とともに切り開き定住したのが始まりと言われていいます。村の大部分は田畑や林、竹やぶでした。村の鎮守様の子安稲荷神社（現在の奥沢子安公園にありました）周辺には家々が集まり、かつての村の中心だったようです。

出典：ふるさと世田谷を語る 尾山台、奥沢篇  
（世田谷区発行）



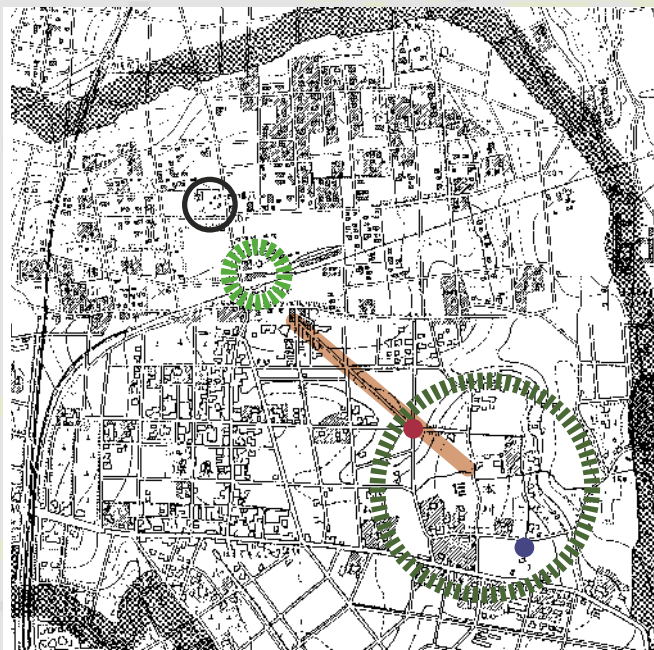
出典：世田谷古地図 明治14年（1881年）当時

現在、駅方面へ向かう道として多くの方が利用されているこの道は、昭和初期に行われた玉川全円耕地整理によりできました。街区に対して斜めに通っており、かつての村の中心と駅を結ぶようにつくられたのではないかとされています。



奥沢本村由来碑

○ 奥沢神社（旧八幡神社） ● 現奥沢駅 ● 奥沢本村の中心  
● 道祖神 ● 奥沢本村由来碑（墓地内）



出典：世田谷古地図 昭和4年（1929年）当時



まっすぐに続く道を歩いていくと、穏やかな高低差によってまちに残る大きな木や家々のみどりが連なって見るとともに、遠方まで見通せるため、まちのみどりや地形の変化を感じることができます。



道の途中にある六叉路の交差点には、街角のみどりを背景に、庚申塔に挟まれ、道祖神が祀られています。表には文化9年（1812年）11月と刻まれており、古くにつくられたものであることが分かります。

